

# 第1学年 図画工作科学習指導案

場 所 図工室

児 童 男16名 女17名 計33名

## 1 題材名

うつしてあそぼう（造形遊び）

## 2 児童について

児童は、絵を描いたりものをつくったりすることが好きである。どの題材に対しても製作意欲は旺盛で、喜んで活動している様子が見られる。しかし中には、表したいもののイメージをもつことができず手が止まってしまったり、試してみることや表すことをあきらめてしまったりする児童も見られる。また、友達との学習活動における関わりの中で、自分が表現したことを友達に伝えたり、友達の表現内容からよさを感じ取ったりする経験が少ない。そのために、自他の表現内容から、よさや面白さ、活動の楽しさといったことを見出すことができていない。

そこで、新たな技法を自由に試したり、楽しんだりする活動を通して、材料に親しみ、発想を広げて自分の表現方法を見つけ出すことができるような経験が必要と考える。体全体を働かせてダイナミックな作品作りに挑戦したり、グループでの活動を取り入れたりすることで、児童同士が活動をつなげ、発想を広げることができると思う。

## 3 題材の指導構想

### （1）題材について

本題材は、新学習指導要領第1学年の内容「A表現」（1）ア「造形遊びをする活動を通して、身近な自然物や人工の材料の形や色などを基に造形的な活動を思い付くことや、感覚や気持ちを生かしながら、どのように活動するかについて考えること。」及び「B鑑賞」（1）ア「身の回りの作品などを鑑賞する活動を通して、自分たちの作品や身近な材料などの造形的な面白さや楽しさ、表したいこと、表し方などについて、感じ取ったり考えたりし、自分の見方や感じ方を広げること。」に関わる題材である。

本題材では、身近にあるものに絵の具を付け、写して遊ぶ活動を通して、自分らしい表現を楽しんだり、いろいろな写し方からイメージを広げたりすることをねらいとしている。直接的な描写の表現と異なり、型になるものを使って形を写し取っていくので、写すまではどんな形になるのか分からない楽しみがあり、写し具合を想像しながら繰り返し試す中でイメージを広げていくことができる。身の回りの物で型押し遊びをした経験が少ない児童は、自分が用意した材料だけでなく、友達の材料と交換し合いながら活動を広げていくことも考えられる。また、グループでの活動を取り入れることで、いろいろな表現方法や見方があることに気付き、自分の表現に生かしたり、イメージを深めたりすることができると思われる。

### （2）指導にあたって

児童の深い学びの姿を次のように捉え、その実現に向けて、以下のような手立てをとる。

#### <育てたい資質・能力>

- ・ 型押しのいろいろな写し方を試しながら、色の組み合わせを工夫したり、写し具合や写す配置・構成などを工夫したりして表すことができる。【知・技】
- ・ 自分で集めた型の写し具合を想像しながら、繰り返し試し、発想や構想を広げるとともに、自分や友達の表し方の工夫を認め、よさや違いに気付くことができる。【思・判・表】
- ・ 様々な型や、写し方を見つけ、その集めた型で写すことに興味や関心をもっている。【態】

#### <深い学びの姿>

- ・ 友達と関わりながら型押し遊びを楽しみ、色を変えたり、重ねたりするなど、工夫して表現する面白さを味わうとともに、写す位置や並び方による感じ方の違いに気付いて、作品づくりを進めていく姿

### 視点1 深い学びを実現する題材構成

- 選んだ材料で型を押す表現活動と、型押ししてできた形を見合う鑑賞活動を並列的に行うことで、児童が新たな表現方法のよさを感じ、「もっと見たい」「もっとやってみたい」という意欲をもち続けることができるようにする。
- 広いスペースを確保して、体全体を使った活動ができるようにするとともに、作品全体を見渡すことができる見晴らし台を設けて、様々な発見をすることができるようにする。また、たくさんの材料を集めたコーナーを設けることにより、自分なりの製作活動を楽しむことができるようにする。

### 視点2 問題解決的な学習展開

#### (1) 主体的な学びを促す手立て

- ・ 児童が見つけた型の種類や模様、イメージなどを壁面や板書に残すことで、様々な型の形から作品のイメージを広げ、学習の中で活用できるようにする。(主①)
- ・ 学習の最後に、「できるようになったこと」や「もっとやってみたいこと」を出し合い、その時間を感じ取った造形的価値を確認することで、自らの学びを実感し、次の活動への見通しをもつことができるようにする。(主②)

#### (2) 対話的な学びを促す手立て

- ・ 「話し合いの視点」を明確に示すことにより、焦点を絞った話し合いをして、材料の違いや型の押し方の違いによる様々な効果や造形的価値について考えを深めたり、広げたりすることができるようにする。(対①)

## 4 題材の指導計画

### (1) 目標

- ・ いろいろな型押しを試しながら、色を工夫したり、押し具合や位置、並び方などの配置・構成などを工夫したりして表すことができる。 **【知・技】**
- ・ 写し具合を想像しながら、繰り返し試し、発想を広げるとともに、自分や友達の表し方の工夫を認め、よさや違いに気付くことができる。 **【思・判・表】**
- ・ 自分の写し方を見つけ、集めた型で写すことに興味や関心をもっている。 **【態】**

### (2) 評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
気に入った写し具合になるように、型の選び方や、型の押し方などを工夫している。	① 写し具合を想像しながら、繰り返し試し、楽しみながらイメージを広げている。 ② 自分や友達の表し方の工夫を認め、よさや違いに気付いている。	いろいろな型で形を写し取ることに、興味や関心をもとうとしている。

### (3) 指導計画（2時間）

段階	主な学習活動	指導の手立て	評価規準（評価方法）
ためす（45分）	○ 型押しクイズをする [10分] ・ 写し取った形と、様々な型を見せて、どの型がどの形とマッチするか、当てるクイズをする。 ・ 型をどのように使うとそのような形になるか考え、黒板に分類していく。	・ クイズ形式で例を示すことで、写る形の面白さに興味をもたせ、型押し遊びに対する関心を高めるようにする。 ・ 様々な「型」と「方法」をの組み合わせによって、表現の幅が広がることを確認する。(主①)	・ いろいろな型で形を写し取ることに、興味や関心をもとうとしている。 <b>【態→観察】</b>
ぺったんぺったん ころころ ころころ ～うつしてあそぼう～			

	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 図工室にあるもので型押しを試す。〔30分〕 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 9切画用紙（一人一枚）</li> <li>・ 絵の具→緑</li> </ul> </li> <li>○ 次にやってみたいことを話し合う。〔5分〕 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 違う形の型を使いたい。</li> <li>・ 大きな紙に型押ししたい。</li> <li>・ いろいろな色を使いたい。</li> </ul> </li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 型は、全員に行き渡る量を用意し、十分に試し遊びができるようにする。</li> <li>・ あえて色を限定したり、小さめの紙に写したりすることで、「もっと～したい」という思いを引き出すことができるようにする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 気に入った写り具合になるように、型の選び方や、型の押し方などを工夫している。【知→観察，作品】</li> </ul>
ふかめる（35分）	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 持ち寄った型を紹介し合う。〔5分〕</li> </ul> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;"> <b>たのしいうつつかたを みつけよう（本時）</b> </div> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ グループで、一枚の紙に形押しをする。〔15分〕 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 大きな紙（ロール紙）に自由に型を押す。</li> </ul> </li> <li>○ 「かたちじまん」をしてよさや楽しさを見つける。〔5分〕 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 教師が発表の手本を示す。</li> <li>・ ペアで「かたちじまん」をする。</li> </ul> </li> <li>○ グループのすてきな作品に仕上げする。〔10分〕 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 色を重ねる</li> <li>・ 模様を増やす。</li> <li>・ 絵を書き足す など</li> </ul> </li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 前時までに出し合った「型」と「方法」の組み合わせを活用して紹介する。（主①）</li> <li>・ 広いロール紙を使い、共同で活動することで、型押しのおもしろさや工夫、色の美しさを言葉で交流することができるようにする。</li> <li>・ 教師が発表の例を示し、話形を確認することで、視点を絞った話し合いができるようにする。（対①）</li> <li>・ 一段高いところ（椅子の上など）から作品全体を眺めることで、互いに描いた形の中のつながりを見つけ、そこからイメージを広げていけるようにする。</li> <li>・ 活動の中で発見したいろいろな写し方や面白い形を、全体で取り上げ、比較したり、関連付けたり、価値付けたりすることで造形的価値を共有できるようにする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 写り具合を想像しながら、繰り返し試し、楽しみながらイメージを広げている。【思①→観察，作品】</li> <li>・ 自分や友達の表し方の工夫を認め、よさや違いに気付いている。【思②→観察，発言】</li> </ul>
ひろげる（10分）	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 全体で作品鑑賞をし、感想を発表する。〔10分〕</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 児童の感じ取ったよさやおもしろさを、全員が受け入れることができるように、教師は児童の言葉を補ったり、整理したりして伝える。（主②）</li> </ul>	

## 5 本時の指導計画

### (1) 目標

- ・ 写り具合を想像しながら繰り返し試し、友達と伝え合うことで、自分のイメージを広げることができる。【思・判・表】

### (2) 評価規準

おおむね満足	努力を要する児童への支援
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 写り具合を想像しながら繰り返し試し、楽しみながら自分のイメージを広げている。</li> <li>・ 自分や友達の表し方のよさや楽しさ、表現の工夫に気づき、認めている。</li> </ul>	友達の考えや教師の助言を取り入れ、一緒に取り組みながら活動を試させる。

(3) 展開

(主) 主体的な学びを促す手立て・(対) 対話的な学びを促す手立て

段階	主な学習活動・予想される児童の反応	教師の支援 (◇評価)	材料・用具
導入 (5分)	<p>1 持ち寄った型を紹介し合う。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>みかんを包んでいたものです。ここに絵の具をつけて、ぺったんすると、ぽつぽつの形ができそうです。</li> <li>段ボールを切ってきました。ころころして使うと、戦車の跡ができそうです。</li> </ul> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>たのしいうつつしかたを みつけよう。</p> </div>	<ul style="list-style-type: none"> <li>前時に行った「型」と「方法」を足し算して考えるやり方を想起し、紹介する時の参考にする。</li> </ul> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <ul style="list-style-type: none"> <li>型の種類や、押し方を板書することで、児童が活動の中で様々な表現方法を使い、イメージを広げていくことができるようにする。(主)</li> </ul> </div>	
展開 (30分)	<p>2 模造紙に形を写し取る。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>グループ(5~6人)で1枚の模造紙に型を押す。</li> </ul> <p>3 自分のお気に入りの模様を紹介し合う。</p> <p>① 教師の例を見て、話し合いの仕方を知る。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>～形じまん～ 話し手 「わたしのじまんはここです。○ ○を使ってぺったん(ころころなど)しました。」 聞き手 「～みたいだね。」 「～がよくできているね。」 ～話し手に拍手～</p> </div> <p>② グループで話し合う。</p> <p>4 グループの「すてきな一枚」に仕上げる。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>白い所にもっと模様を増やそう。</li> <li>街みたいだから、道路やビルを描いて街らしくしよう。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>大きい紙を使い、共同で活動することで、互いの型押しの面白さや色の美しさを言葉で交流することができるようにする。</li> <li>児童が活動の中で発見したいろいろな写し方や面白い形を、グループ内や全体で取り上げ、比較したり、関連付けたり、価値付けたりすることで造形的価値を共有できるようにする。</li> </ul> <p>◇ 写り具合を想像しながら繰り返し試し、楽しみながら自分のイメージを広げている。【思①→観察】</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <ul style="list-style-type: none"> <li>視点(話形)を示すことで、材料の違いや型の押し方の違いによる様々な効果について、焦点を絞った話し合いができるようにする。(対)</li> </ul> </div> <ul style="list-style-type: none"> <li>話し合いが進まないグループには教師が付き、うまく型押しできたところを一緒に探したり、「方法」を表す言葉(ぺったん、ころころなど)を教えたりして、自分の言葉でよさや楽しさを伝えることができるようにする。</li> </ul> <p>◇ 自分や友達の表し方のよさや楽しさ、表現の工夫に気付き、認めている。【思②→発表、観察】</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>ロール紙</li> <li>絵の具</li> <li>トレー</li> <li>バケツ</li> <li>水差し</li> <li>ペットボトルのキャップやお菓子の箱など、型になるもの</li> </ul>
まとめ (10分)	<p>5 作品を鑑賞する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>みんなの模様が集まるときれいだね。</li> <li>○班は海の中のような感じだね。</li> </ul> <p>6 活動を振り返る。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>「できたこと」「もっとやってみたいこと」を発表する。(指名)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>児童が作品全体を見渡してイメージを広げることができるように、椅子などを置いて一段高い見晴らし台を作る。</li> </ul> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <ul style="list-style-type: none"> <li>感じ取った作品のよさや楽しさを全体で確認することで、自らの学びを実感し、次の活動への見通しをもつことができるようにする。(主)</li> </ul> </div>	

